広報

ときめき きらめき いきいきを伝える

Seki

せき

2013
5/1
No.1627

関市イメージキャラクター
「関＊はもみん」

特集

それ行け!市民記者 ふれあいセンター&生涯学習センター……P2

TOPICS

第４次総合計画後期基本計画策定…P6
夏の風物詩 小瀬鵜飼…P9
学校教育夢プラン…P10
市議会だより…P14
お知らせ…P20
文化会館・図書館…P31
健康情報…P32

小瀬鵜飼いよいよ開幕（小瀬・長良川）

それ行け！市民記者

市民目線で関市を調査!!

市内各所に点在するアノの施設を調査せよ!

ふれあいセンター&生涯学習センター

調査しちゃうぜぇ～っ！

市内の各所に見かける、公民館のような建物。
通りがかると、昼はもちろん夜も明かりが付いている。
どうやら、部屋がいくつかあって、いろんな団体が集会やイベントをしてるようだけれど、いったいどんな施設なのか!?
知ってる人しか知らない、なじみのちょっと薄い!?この施設を、市民記者がワイルドに調査しちゃうぜぇ～っ!

「ふれあいセンター」「生涯学習センター」ってなんなんだぜぃ？市役所の人に聞いてみたぜぃ。

ふれあいセンター・生涯学習センターとは

市民の交流・活動を支援して、生涯学習や福祉の振興を図り、豊かさや生きがいを感じられる地域社会を作る拠点です。

関市役所職員

簡単に言えば、市民の活動のために作られていたんだぜぃ。思った以上にそれぞれに特長があるようだから、市民記者で調査してみんなに教えちゃうぜぃ。

調理室が充実しているのは！

安桜ふれあいセンター
富野ふれあいセンター
千疋ふれあいセンター

パンの調理器具も充実。
発酵器もあるんだって!
自分たちでパン教室もできるね。

富野ふれあいセンター

安桜ふれあいセンター

安桜ふれあいセンター

安桜ふれあいセンター

図書コーナーの充実度No.1

下有知ふれあいセンター

1200冊の本と、広いスペースが魅力。本は市立図書館との間で定期的に入れ替えているそうです。
児童室は日当たりがよくて、子どもを連れて行くのによさそう。
昔あった遊具が無くなっているのはちょっと残念。

下有知ふれあいセンター

下有知ふれあいセンター

踊りやダンスに使うなら！

富野ふれあいセンター

大きな鏡があるのが一番印象的！（手動開閉式の三面鏡）。
とても広いホールで、開放感をあじわいながら踊れます。

富野ふれあいセンター

富野ふれあいセンター

駐車場台数No.1

倉知ふれあいセンター

駐車可能台数35台

どうしても車の台数が増えがちなイベントや、お祭り、発表会なんかには利用しやすいよねえ。

倉知ふれあいセンター駐車場

野田記者

倉知ふれあいセンター

利用料が1番安い

千疋ふれあいセンター（和室）

午前中の利用料が、とってもお値打ちな、1時間150円。
着付け教室やお花などで利用されているんですって。
第1会議室、第2会議室というように、2部屋にも分かれていました。姿見（鏡）もありましたよ。

千疋ふれあいセンター

小学生以上なら子どもだけでも使える

桜ヶ丘ふれあいセンター児童室

富野ふれあいセンター児童室

旭ヶ丘ふれあいセンター

千疋ふれあいセンター
桜ヶ丘ふれあいセンター
旭ヶ丘ふれあいセンター
富野ふれあいセンター

児童室が子どもだけで使えるよ！
子どもだけで遊びに行けるって、寺子屋みたいでいいよね！
今、地域で子どもたちが遊べる場所って少ないもんね。

会議室で飲食可

桜ヶ丘ふれあいセンター

桜ヶ丘ふれあいセンター
田原ふれあいセンター
千疋ふれあいセンター
富野ふれあいセンター

思った以上に使いやすそうだぜぇ～

ホームページが充実

田原ふれあいセンター

ブログがあって、イベント情報が随時更新されています。
利用するときにはとっても便利だよね。

田原ふれあいセンター

小ネタ

○富野ふれあいセンターは、隣が交番だから安心（笑）
○全部の施設に多目的トイレがあるよ。

学習・会議・スポーツ大会・発表会などに、どんどん利用したい！市民だれでも利用OK！

市内各地の生涯学習センターはこちら！

上之保生涯学習センター

木をふんだんに使用した居心地良いセンター

「木」がいっぱい

超豪華なホール！

武儀生涯学習センター

図書館は漫画も充実

大きくてきれい
設備が充実
カローリング大会も
開催

広いアリーナと
音響の良い
ホール
でした

フィットネスルームも充実

板取生涯学習センター

板取スイス村
体験塾の拠点で
そば打ち、マスの
つかみ取りも！

洞戸生涯学習センター

住民と距離の近い
アットホームなセンター

地域のコミュニティ活動で活躍

読み聞かせもしています

ごっちゃんも
早速利用して
みるぜぃ！

武芸川生涯学習センター

体育館やホールが充実

ホールはかつての映画館のよう

せっかくの素晴らしい施設をもっと活用したいですね！

関市内のふれあいセンター・生涯学習センター 一覧

ふれあいセンター

倉知ふれあいセンター	関市倉知 927 番地 1	0575-23-9830
千疋ふれあいセンター	関市千疋 196 番地	0575-28-6408
田原ふれあいセンター	関市西田原 1426 番地 1	0575-24-4848
旭ケ丘ふれあいセンター	関市仲町 8 番 15 号	0575-25-0515
桜ケ丘ふれあいセンター	関市鋳物師屋 5 丁目 2 番 30 号	0575-22-1931
下有知ふれあいセンター	関市下有知 3245 番地 32	0575-25-2020
安桜ふれあいセンター	関市千年町 2 丁目 18 番地 1	0575-25-0130
富野ふれあいセンター	関市西神野 144 番地 1	0575-29-0788

詳細は、市のホームページ　http://www.city.seki.lg.jp/0000003582.html

生涯学習センター

洞戸生涯学習センター	関市洞戸市場 294 番地 2	0581-58-2115
板取生涯学習センター	関市板取 1634 番地	0581-57-2220
板取生涯学習センター別館	関市板取 1591 番地 1	
武芸川生涯学習センター	関市武芸川町小知野 779 番地 1	0575-46-3611
武儀生涯学習センター	関市富之保 2001 番地 1	0575-49-3715
上之保生涯学習センター	関市上之保 15110 番地 1	0575-47-2500

詳細は、市のホームページ　http://www.city.seki.lg.jp/0000003580.html

利用の際には、
早めに予約しておくのが安心だぜぃ！

市民記者からの提案

SUMMARY

ふれあいセンター、生涯学習センターの取材を終えて、私たち市民記者はこう考えました。ちょっと偉そうだけれどお許しください。

「もっと使わないともったいない」

これは、今回の企画をやる発端となった意見でした。「ふれあいセンターは市内にたくさんあるのに活用されているのだろうか。うちの地域はあまり活用されていないみたい」。この意見は取材をしてみて確固たるものとなりました。この企画を読んで頂いた通り、とても素敵な施設がたくさんあります。しかし、まだまだ活用できていないと感じる施設もありました。もちろん地域のセンターなので、地域が優先ということは理解できますが、同じ関市の施設。利用率を上げるよう、広く積極的にPRしていくことが、市内みんなの利益につながるのではないでしょうか。

「運営の仕方によって地域住民との距離感が違う」

取材をしてみて、各施設によって受付などの対応に違いがあるように感じました。積極的に地域のまちづくりに取り組んでいる印象のところと今ひとつに思うところがありましたが、より市民に活用されている施設は、活発で明るい丁寧な対応だったと思います。

この施設は、運営の仕方によって大きく変わると思います。ぜひ地域のまちづくりのために積極的に取り組んでいただくとともに、窓口対応も意識していただけたらと感じました。

「全部同じものではなく特徴を。資金面も心配」

それぞれの地域で多少の違いはあるものの、基本的には同じような設備でした。各地域内で考えればそれでいいのですが、関市民全体への有益性を考えると、それぞれの施設で特徴があってもいいと感じました。例えば、この地域のセンターは「バンドの練習ができる設備がある」とか・・・。

また、「もっと質素なものでもいいのでは」という意見もありました。今後もふれあいセンター、生涯学習センターの整備が計画されていますが、それらを全て運営していくコスト面も心配です。場があることが大切なので、大きすぎる施設はもったいないのではないでしょうか。

【市民記者】
川嶋涼子（編集長）、野澤敬子、北村隆幸、
青山美登里、野田卓志、後藤　寛、
小鞠　敦（レイアウト）
Special Thanks：秘書広報課

【おねがい】掲載の記事は、市長の委嘱を受けた有志「市民記者」が実際の取材をもとに、秘書広報課の協力を得ながら作成しています。掲載情報には慎重を期していますが、万一誤記などがありましたらご容赦ください。
なお、施設の詳細や利用に関しては念のために各センターに直接お問い合せください。

関市第4次総合計画後期基本計画を策定

◆照会先　企画政策課
☎23―7014

「日本一しあわせなまち・関市」を目指し、新たに関市第４次総合計画後期基本計画を策定しましたので、ご紹介します。

1 計画の基本事項

(1) 計画策定の趣旨

関市では、「関市第4次総合計画」で掲げている将来都市像「水と緑の交流文化都市～ときめき・きらめき・いきいき・せきし～」の実現に向け、平成20年度より前期基本計画に基づいてさまざまな施策を展開してきました。

前期基本計画期間中において、全国的な人口減少や少子高齢化の進展、長引く景気の低迷による雇用情勢の悪化、大規模災害の発生、地球規模での環境問題の深刻化、情報通信技術の高度化、地方分権の推進など、あらゆる分野で大きな変化が生じています。このような状況の中、関市が発展し続けるためには、時代の潮流を的確に見据えながらさまざまな課題に適切に対応し、市民の生活の向上と地域の発展を実現していく必要があります。

このような現状を踏まえ、引き続き「改革と協働で築く自立のまち」の基本理念のもと、基本構想の実現に向けた新たな後期基本計画を策定しました。

(2) 計画期間

後期基本計画の計画期間は、「関市第4次総合計画」の期間（平成20年度から平成29年度まで）のうち、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。

(3) 後期基本計画の特色

①市民の視点に立った計画

市民ニーズを反映させるため、市民アンケート調査や団体・企業ヒアリング調査を実施し、その結果を踏まえた計画としました。また、計画書の表現や記載についても、より市民にわかりやすい内容となるよう配慮しました。

②効果的・効率的な進行管理が行える計画

計画の着実な推進を図るため、総合計画を実施する裏付けとなる財政計画との整合に留意しながら、各分野において重点的取り組みを設定するなど、「選択と集中」を図りながら策定を行いました。また、職員にとって、より使いやすい総合計画となるよう、計画策定とあわせて、効果的で効率的な進行管理システムの構築を行いました。

③市民の「幸福度」を高めるための成果を重視する計画

計画で目指すものとして新たに「市民幸福度を高める」ことを掲げました。後期基本計画では将来都市像の達成とともに、市民幸福度の高いまちを目指し、施策を推進します。

2 関市における課題

平成20年3月に、「関市第4次総合計画」が策定されて以降、社会情勢も変化してきています。前期期間中の関市における課題は以下のような項目に集約されます。

課　題	求められる事項
人口の減少と高齢化の進行	人口減少、少子高齢化を前提とした社会システムへの転換、地域別の高齢化率の差への対応
世帯の小規模化と多様化	世帯あたり人員数の減少、核家族世帯・単独世帯の増加など、多様な世帯の形態を踏まえたセーフティネットづくり
厳しい経済情勢と求められる産業の活性化	各産業分野における厳しい状況のもと、働き手となる人材の確保・育成や、関市でしか生み出せない魅力ある産業の振興
安全・安心社会への希求	ハード・ソフト両面から「減災」の視点に立った取り組みの推進、高齢者などの詐欺被害への対応、食の安全、心の健康づくりなど市民が安心して暮らすための環境づくり
自然環境の保全やエコ活動の活性化	豊かな水や緑の保全や継承、山林の荒廃への対策、省エネルギーの取り組み、自然エネルギー活用などの推進
「幸福」の追求と、人とのつながりの変化	人々の価値観の変化などを受け、経済的な側面だけではない視点から、関市で暮らすことの価値や魅力の発信
地域課題の状況と活発化するコミュニティ活動	市中心部から遠い地域における、生活道路の整備や防災、消防・救急体制など、生活の利便性向上や、安心できる体制整備
地方分権の進展と市民協働の進展	地方分権の進展、自立した地域経営、協働のまちづくりの基盤づくり
さらなる行財政改革の必要	これまで以上の行財政運営の効率化や税収確保に向けた取り組み

(1) アンケートからみえる市民ニーズ

市民の居住ニーズは高くなっていますが、住み続けていくために重要なこととして「医療機関や福祉施設が整っていること」「交通の利便性が良いこと」が求められています。また、施策の重要度と満足度の関連を分析すると、重要度は高いが満足度は低い（特に力を入れて取り組んでいく必要があるもの）施策として、行財政運営や行政サービス、市民意見の反映などの行政に対する施策や、子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉などの各種福祉施策、労働力、商業、公共交通などの施策があげられています。

■今後の関市への居住意向（単数回答）

■関市で住み続けていくために重要なこと

(2) ヒアリングからみえる市民ニーズ

関市で活動する団体、事業を展開する企業からの意見で多かったものは「人や地域コミュニティのつながりを強化するための取り組みの充実」「防災・災害時対応の強化や災害時要援護者対策の充実」「関市の特色を生かした産業の振興（農林業、伝統産業、観光など）」「公共交通における利便性の向上」「協働のまちづくりを推進するための、団体などへの支援体制の強化」などとなっています。

3 後期基本計画の方向性

(1) 基本理念・将来都市像

平成20年度から平成29年度を計画期間とする「関市第4次総合計画」の基本構想で掲げた基本理念と将来都市像は、後期基本計画においても継続して目指すものとします。

基本理念　　改革と協働で築く自立のまち

将来都市像　　水と緑の交流文化都市
～ときめき・きらめき・いきいき・せきし～

(2) 目標人口

「関市第4次総合計画」において、平成29年の目標人口を95,000人として定めました。しかし、全国的に人口は減少局面に入っており、関市においても平成17年から平成22年にかけて人口が減少に転じています。また、現在の状況の継続を前提とすると、今後の人口推計においても、ゆるやかに人口が減少していくことが予測されます。

このような状況を踏まえ、平成29年の定住人口の目標は90,000人として設定します。さらに、定住人口のみではなく、関市に通勤・通学する人口、関市に観光に訪れる人口、まちづくりに参加して活動する人口といった「関市に関わる人口、関市のために活動する人口を増やす」視点を持ちながら、より多くの人がいきいきと活動する関市を目指します。

将来人口指標

定住人口　90,000人

交流人口

宿泊観光客数　350人／1日

通勤・通学者数　18,000人／1日

活動人口

地域活動に参加している市民　増加

ボランティア等への参加者数　増加

(3) 市民の幸福度を測る「市民実感指標」の設定

モノの豊かさから心の豊かさが重視されるようになってきています。

このような中、「改革と協働で築く自立のまち　水と緑の交流文化都市」の実現を目指すためには、まちづくりの主役となる市民の「関市に住んでいて幸せである」という幸福実感が向上することが必要です。

市民の幸福実現に向けて、後期基本計画では「日本一しあわせなまち・関市」を目指し、計画を推進します。

市民満足度を高めて「日本一しあわせなまち・関市」へ

4 後期基本計画における重点的取り組み

①市民や地域の視点でまちをつくる

○関市におけるまちづくりのあり方の明確化
○住民自治を推進するための支援体制の整備
○市民に身近な広報・広聴活動の充実
○市民が市政に参画する機会の充実

②未来にはばたく関市の子どもをはぐくむ

○働きながら安心して子育てができる環境づくり
○家庭、地域、学校が連携した、地域ぐるみの子育て支援・教育の推進
○子どもたちの力を引き出す、きめ細かな教育の推進
○関市の未来を担う人づくり
○支援が必要な子どもが安心して過ごせる学校環境の整備
○食育を通じた健康な体と豊かな心の育成
○生涯を通じて学び、成果を地域に還元できる仕組みづくり

③誰もがいきいきと輝き、健康で活動的に暮らせるようにする

○生涯を通じた健康づくりの推進
○スポーツを通じた心身の健康づくり
○地域医療体制の強化
○高齢期の生きがいづくり活動の活性化
○高齢者・障がい者への支援の充実

④いつまでも安心して暮らし続けられる地域をつくる

○地域を中心とした「減災」のまちづくり
○交通の利便性の向上
○憩いと潤いがある環境づくり
○自然エネルギーの有効活用の推進

⑤関市の「宝」を生かした産業を興す

○伝統産業の活性化
○企業誘致と雇用確保
○関市の魅力を伝える情報発信の充実
○特産物のブランド化の推進
○地域資源を生かした観光の振興

⑥市民とともに歩む、信頼される行財政運営を行う

○財政健全化の推進
○職員の政策立案能力の向上
○無駄のない、効率的な行政運営の推進
○質の高い行政サービスの提供

広報せき6月号では、推進イメージと各分野における重点取り組みを紹介します。

後期基本計画は、市ホームページで公開しているほか、企画政策課窓口をはじめ、市役所1階案内、各地域事務所、西部支所、関市立図書館カウンターなどで閲覧できます。

また、計画書（冊子）は、市役所3階・企画政策課窓口にて1冊400円で販売しています。

清流長良川河畔、小瀬の里で繰り広げられる小瀬鵜飼は、一千有余年もの歴史をもつ伝統漁法。風折烏帽子に腰蓑といった、昔から変わらぬ衣装を身にまとった鵜匠が、篝火を頼りに見事な手縄さばきで鵜を操る姿は実に美しく幻想的です。

このダイナミックで幽玄な夏の風物詩「小瀬鵜飼」を、風流な屋形船に乗って目の前で楽しむことができます。

夏の風物詩

小瀬鵜飼

5月11日[土] 開幕～10月15日[火]

奥長良川県立自然公園　小瀬長良川河畔にて

照会先　関市観光協会（観光交流課内）☎22-3131

申し込みと料金

鵜飼の観覧には予約が必要です。

申込・照会先

●関遊船㈱事務所（午後1時～）☎22－2506　FAX23－7980
または次の関遊船登録店
●関観光ホテル ☎22－1166
●鵜の家 足立 ☎22－0799
●鵜匠の家 岩佐 ☎22－1862

インターネット予約も開始しました。
検索 小瀬鵜飼ネット ozeukai.net

遊船料金表（消費税込み）		7・8・9月	5・6・10月
貸切料金	10人乗屋形船	28,000円	27,000円
	20人乗屋形船	51,000円	50,000円
乗合料金	大人	3,500円	3,300円
	小人（小学生以下）	2,500円	2,400円

小瀬の鵜飼はひと味 違う

小瀬鵜飼の魅力は、なんといっても古式ゆかしいその風情。周りには人工的な明かりがほとんどなく、漆黒の闇のなかに篝火の炎だけが赤々と浮かびます。静寂の中で聞こえてくるのは舟を漕ぐ音と鵜匠の掛け声、そして鵜の放つ水しぶきの音だけです。

小瀬鵜飼の特徴は、鵜舟に屋形船が沿うように近づき間近で見られる「狩り下り」。一度下った鵜舟が、川岸に付けた屋形船の前をもう一度通り過ぎる「付け見せ」も行い、鵜飼を存分に楽しめます。

図解 小瀬鵜飼

小瀬鵜飼の主役は鵜。操る鵜匠とともに、とも乗り、なか乗りが鵜舟に乗ります。この3人が1組となり、鮎を捕りながら川を下っていきます。

- ■鵜舟 …… 全長11メートルの鵜匠の舟。鵜匠となか乗り、とも乗りが乗る。
- ■とも乗り …… 鵜舟を操る責任者。
- ■なか乗り …… 鵜匠、とも乗りの助手。
- ■篝火 …… 照明のため、松割木を燃やす。
- ■手縄 …… 鵜匠は手縄が絡み合わないよう上手にさばいて鵜を操る。
- ■ムクゲ …… 篝棒のすべりをよくするため、ムクゲが使われる。

平成25年度 学校教育夢プラン始まります！

夢のある明るい学校づくり

関市教育委員会

平成２５年度

関市学校教育

夢プラン

☆学力向上作戦

●平成２３年度に作成した中学生用英語教材「関市生徒必携６００語」「関市生徒必携１００文」に加え、平成２４年度には算数・数学の教材「計算マスター」を作成し、基礎学力の定着を図ります。

●英語力強化のために、１２月に中学３年生、1月に中学１・２年生を対象とした「関市語彙力テスト」を行っています。

☆ 新 中学生英語スピーチコンテスト

●平成２５年度より中学生を対象に、暗唱とスピーチの2部門で開催します。

●英語力と自己表現力の育成を図ります。

☆読書推進活動

●「読書推進のまち関市」を合言葉に、学校読書デー・家庭読書デーを設定し各校でさまざまな取り組みをしています。

☆関市版「寺子屋」事業

●地域の著名人や専門家を講師として地域の自然・文化や生き方を学んでいます。

●知的好奇心を刺激し、探究心や創造性を育むとともに、キャリア教育に活用し、子どもたちの進路意識を高めています。

☆ 新 「関ふるさと学習」事業

●小学生が小瀬鵜飼を観覧しています。また平成２５年度より小中学生が日本刀鍛錬を見学し、郷土の伝統文化に親しみます。

☆関商工高出前授業

●関商工高校が市内の中学校で授業を行い、中学生の進路意識向上の手伝いをしています。

●9月に3年生を、2月には2年生を対象に実施しています。

新学期が始まり、1カ月がたちました。子どもたちは少しずつ新しい環境に慣れ、学校には元気な姿と朗らかな声が満ち溢れています。子どもたちは誰でも無限の可能性と夢を持っており、その可能性を引き出し、夢を一緒に育てていくことが学校教育です。各小中学校と教育委員会では、「夢のある明るい学校」を合言葉に、学校教育夢プラン（下図）を実施し、子どもたちが明るい夢を描き、その夢に向かって力強く生きていくよう支援します。保護者の皆さんをはじめ、地域・関係諸機関の皆さんのご支援ご協力をよろしくお願いします。

関市版寺子屋事業

地域の方のお話で、ふるさとの良さを再認識しています。

中学生リーダー研修会

講演を聴く生徒たち。頼もしいリーダーに育ってくれることを期待しています。

◆照会先　学校教育課　☎23―7719

☆中学生リーダー養成研修会

●各校の交流や研修、市にゆかりのある方々の講演などを通じて、リーダーとしての資質向上を図っています。

☆ 新 中学生海外研修

●豊かな国際感覚を養うとともに広い視野をもち将来先頭に立って活躍する人材を育成するために、平成２５年度から中学生をワシントンDC・ニューヨークへ派遣します。

☆指導力アップ研修

●21講座を開設し、毎年約６００人の教職員が研鑽を積んでいます。
●市主催で2年目研修や中堅教員パワーアップ研修、講師研修を実施しています。
●研究員会を組織し、指導法や内容の研究、教材の開発をしています。

☆防災環境づくり

●平成２５年度末までに、市内全小中学校の耐震工事を完了します。
●「落下物ゼロ作戦」として、校内設備の見直しと実践的訓練をしています。

☆人権教育の推進～いじめゼロ

●市内全小中学校がいじめ撲滅宣言を採択し、人権教育に取り組んでいます。
●外部有識者を含めたいじめ問題対策拡大会議を開催しています。

☆心肺蘇生法研修

●ＣＰＲ＆ＡＥＤトレーニングキットを中学1年生全員に1人1セット準備し、実施します。家庭への啓発を中学生が担っています。